

## 災害に備えて今日から 水のくみ置きを！ ～9月1日は防災の日～

各家庭でできる災害対策として、水道水のくみ置きがあります。人が生きていくためには「1人1日3リットル」が必要とされています。

### ①くみ置きの方法

清潔でふたのできる容器（ポリタンク・ペットボトル・水筒など）になるべく空気が入らないように口元いっぱいまで水道水を入れてください。

このとき、水道水を沸騰させたり浄水器等に通さないで、蛇口からそのまま容器に保存してください。

### ②くみ置きの保存方法・期間

直射日光を避けて、涼しいところで保存してください。また、消毒用の塩素効果が持続するのは、3日程度です。保存期間を過ぎた水は、飲み水以外の手洗いやトイレの水としてご利用ください。

山武郡市広域水道企業団  
☎0475 (55) 7852



山武郡市広域水道企業団  
マスコットキャラクター  
「さんすいちゃん」

## 3つの安全行動



・身的安全を確保する。  
・すばやく火の始末をする。  
・非常脱出口を確保する。  
・火が出たらできる限り消火する。  
・外へ逃げるときは慌てない。  
・シエイクアウト（3つの安全行動）の実践

・寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には大きな家具は置かないようにしましょう。  
・タンスなど大きな家具はL字金具や支え棒を使用し、倒れにくいようにしましょう。  
・安全に避難できるような、出入口や通路には物を置かないようにしましょう。  
・家具の転倒を防ぐポイント  
・タンスL字金具や支え棒で固定。二段重ねの場合はつなぎ目を金具で固定する。  
・冷蔵庫の後ろの上部に転倒防止ベルトの取付箇所があれば、ベルトを通して壁に固定する。無ければ、扉と扉の間に針金を巻いて金具で壁に固定する。  
・食器棚L字金具や支え棒で固定し、重い食器は下に、軽い食器は上に収納、戸が開かないように留め金を付ける。また、ガラス部分に飛散防止フィルムを貼る。  
・テレビ・テレビ台に固定する粘着マットや壁に固定するベルトを利用する。



安全対策課消防防災班  
☎0475(70)0303

## 地震が起きたら落ち着いて行動しましょう

地震はいつ発生するか分からない災害です。普段から少しでも被害を抑えられるように備えておきましょう。

地震が起きたとき、家具の転倒や落下、ガラスの飛散により思わぬけがをする可能性があります。次のことに注意しましょう。

家の周囲の安全対策  
・植木鉢の落下やブロック塀の倒壊による被害を防ぐため次のことに注意しましょう。  
・屋根・屋根瓦やアンテナの補強をする。  
・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る。  
・ベランダに植木鉢などを落ちる危険がある場所に置かない。  
・ガスボンベは鎖で固定する。  
・ブロック塀・門柱に基礎や鉄筋が無い場合は補強し、ひび割れがないか確認する。

かかないように留め金を付ける。また、ガラス部分に飛散防止フィルムを貼る。  
・テレビ・テレビ台に固定する粘着マットや壁に固定するベルトを利用する。

台風による暴風雨は雨水による浸水や窓ガラスの破損など多岐にわたる可能性があります。台風の接近に備えて、少しでも被害を小さくできるような事前の対策をお願いします。

庭木の固定や庭にある植木鉢、物干し竿は家の中にしまし、設置されているパラポラアンテナは点検して固定しましょう。

断水に備え、湯船に満タンの水を蓄え生活用水とし、停電に備えて発電機、懐中電灯、ランタン等の備蓄、携帯電話やモバイルバッテリーの充電や懐中電灯用の乾電池の確保をしましょう。

窓や雨戸を補強しましょう  
強風で飛ばされてきた飛来物により窓ガラスが破損する可



山武郡市広域水道企業団  
☎0475(70)0303

断水に備え、湯船に満タンの水を蓄え生活用水とし、停電に備えて発電機、懐中電灯、ランタン等の備蓄、携帯電話やモバイルバッテリーの充電や懐中電灯用の乾電池の確保をしましょう。

断水に備え、湯船に満タンの水を蓄え生活用水とし、停電に備えて発電機、懐中電灯、ランタン等の備蓄、携帯電話やモバイルバッテリーの充電や懐中電灯用の乾電池の確保をしましょう。

## 台風に向けて事前の対策を

## 大網白里市からの防災情報の受信準備はできていますか

ホームページ

- 〈市ホームページ〉
- 〈千葉県防災ポータルサイト〉

メール

- 〈市メール配信サービス〉
- 〈緊急速報メール(エリアメール)〉

放送

- 〈防災行政無線〉
- 〈戸別受信機〉
- 〈電話応答サービス〉

SNS

- 〈「安全対策課」公式X(旧ツイッター)〉

アプリ

- 〈Yahoo! 防災速報アプリ〉

安全対策課消防防災班  
☎0475(70)0303

## 災害に備えて家庭で備蓄品を準備しましょう

大規模災害では、ライフラインや物流の停止、長期間の避難所生活等により物資が不足する恐れがあります。市の備蓄数には限りがありますので、各家庭では災害発生後1週間程度の食料や水の備蓄にご協力をお願いします。

### 〈常時携行品〉

財布・携帯電話・キャッシュカード・免許証など貴重品、携帯ラジオ、携帯電話の充電器

### 〈非常持出品〉

2泊3日程度の避難生活に必要な非常食や飲料水、持病薬やアレルギー対応食などを優先する。普段からリュックサックに入れておく。

### 〈備蓄品〉

最低3日分、可能であれば1週間以上分の食料や水。食料はレトルト食品や缶詰、カップ麺。水は大人1人当たり1日3リットルが目安。ポリ容器や下着、着替えも用意。

▶停電時に役立つもの=懐中電灯、ラン

タン、携帯ラジオ、卓上こんろ、乾電池、発電機（屋外で換気し使用）

▶断水時に役立つもの=飲料水、給水用ポリ容器、非常用トイレ

ポリ容器に普段から水を貯めておくと、生活用水に使用できます。

### 〈ローリングストック法で食品の備蓄を〉

普段食べているインスタント食品等を多めに買い、消費期限の短いものから消費し、食べた分を補充していく方法です。消費期限切れを防ぎ、食べ慣れた食品を災害時に食べることができます。



▲備蓄品チェックリスト  
(市ホームページ)

安全対策課消防防災班  
☎0475(70)0303



## 「ガスと暮らしの安心」運動

「つい」、「うっかり」などでガスの事故は発生します。ガスを使用する一人ひとりが注意をすることで、事故の無い快適な暮らしを実現しましょう。

ソフトコード(ゴム管) → ゴム管差込型  
ガスコード → スリムプラグ型  
長さ:0.5m・1m・2m・3m・5m・8m

- ・ガスを使用するときは必ず換気をしましょう。
- ・機器接続口に合った正しい接続具を使用しましょう。

・ガス漏れ警報器を設置しましょう（火災警報器や一酸化炭素警報器との複合型もあります）。

「ガスと暮らしの安心」運動についての詳細は、日本ガス協会のホームページをご覧ください。

安全対策課 ☎0475(72)1131

市営ガスは、家計にも環境にもやさしい県産天然ガスを供給しています（供給しているガス種は12Aです）。